

## 中核事業の評価シート【舞台芸術体験事業】

作成者:ちばアートウインド運営企業体

## 1 選定事業

事業名	舞台芸術体験事業
関連する施策	施策 2 文化芸術活動を体験する機会の提供
	施策 3 文化芸術情報の幅広い収集と戦略的な発信
	施策 5 子どもや若者が継続して文化芸術に親しめる機会の提供
	施策 7 文化施設の企画力や専門性を活かした取り組みの実施
	施策 12 アーティストが集い、活躍の場を広げるための支援
実施主体	ちばアートウインド運営企業体
市との関わり	指定管理
予算 (R7 年度)	5,488 千円

## 2 内容

## (1)事業概要

事業概要	身近な場所で舞台芸術を体験できる機会の提供に取り組み、文化芸術活動へのきっかけ作りや感性・創造性を育み文化芸術性の向上に取り組む。
------	---

## (2)第3次文化芸術振興計画の基本目標への寄与

基本目標 1 (メイン)	身近な場所で舞台芸術を体験できる機会の提供に <b>取り組む</b> ことで、 <b>基本目標1</b> 多彩な文化芸術に触れる <b>機会の拡充</b> に寄与
基本目標 2 (関連)	小・中学生、若者を対象として、文化芸術活動への <b>きっかけ作り</b> を行うことで、 <b>基本目標2</b> 文化芸術をとおして <b>相互理解を深める場の創出</b> に寄与
基本目標 3 (関連)	文化施設の企画力や専門性を活かした <b>取り組み</b> を実施し、人が集い、そこから新たな文化芸術活動が行われることで、 <b>基本目標3</b> 千葉市ならではの文化芸術による <b>新たな価値の創造</b> に寄与
基本目標 4 (関連)	文化芸術活動への <b>きっかけ作り</b> や感性・創造性を育み文化芸術性の向上に取り組むことで、 <b>基本目標 4</b> アーティストへの <b>支援</b> と文化芸術に携わる <b>人材の育成</b> に寄与

## 3 実績

## (1)直近の実績

実績 (R6 年度)	<b>1 元気ちば応援団「若葉ペアーズ」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場所:若葉文化ホール</li> <li>・ 実施期間:2024年4月~2025年3月(毎月3~5回)</li> <li>・ 目的:チーム活動を通じて、自己表現の素養と仲間との協調性を身に付ける。ホールへの愛着と舞台での発表経験を得る。</li> <li>・ 内容:一般市民で「元気ちば応援団」を設立。“市民を元気に！街を元気に！”を</li> </ul>
------------	---

	<p>テーマにチアリーディングのパフォーマンスを練習。施設内外のイベント等で、応援活動を行い笑顔で市民に元気とエールを贈る。</p> <p><b>2 市民劇「千葉魂～Chiba Soul VII」ワークショップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場所:美浜文化ホール</li> <li>・ 実施期間:2024年5月～8月(全25回程度)</li> <li>・ 目的:市民が舞台芸術に触れる機会を提供し、体験を経て芸術表現の素晴らしさ、楽しさに触れる機会を創出する。</li> <li>・ 内容:市民自らが芸術文化に触れる機会を提供する。ワークショップを通じて参加者にコミュニケーション、自身の気持ちを表現する大切さを感じてもらう。</li> </ul>
--	--

(2) 関連する参考値

参考値名称	R6 年度	内訳
2-1 文化芸術活動への主体的な参加者数	2 事業 66人	1元気ちば応援団「若葉ベアーズ」 ・ 参加者 26人 2市民劇「千葉魂～Chiba Soul VII」ワークショップ ・ 参加者 40人
3 情報発信した事業数	2 事業 広報媒体	1元気ちば応援団「若葉ベアーズ」 ・ ホール HP・チラシ・公式 SNS 2市民劇「千葉魂～Chiba Soul VII」ワークショップ ・ ホール HP・チラシ・DM(過去参加者)・公式 SNS
5-2 学校以外の活動の場や機会の提供を行う事業数	2 事業	1元気ちば応援団「若葉ベアーズ」 ・ 幼稚園年中～中学生 2市民劇「千葉魂～Chiba Soul VII」ワークショップ ・ 小学4年生以上～一般(大人)
7 文化施設の来館者数	54人	1元気ちば応援団「若葉ベアーズ」 ・ 若葉文化ホール 来館者 26人 2市民劇「千葉魂～Chiba Soul VII」ワークショップ ・ 美浜文化ホール 来館者 40人
12-1 アーティストへの助成支援数	2 事業 16人	1元気ちば応援団「若葉ベアーズ」 ・ 参加アーティスト(講師) 1人 2市民劇「千葉魂～Chiba Soul VII」ワークショップ ・ 参加アーティスト(講師) 15人
12-2 アーティストへの活動場所の紹介件数	2 事業 65回 のべ80人	1元気ちば応援団「若葉ベアーズ」 ・ アーティスト(講師)参加回数 45回 2市民劇「千葉魂～Chiba Soul VII」ワークショップ ・ アーティスト(講師)参加回数 20回

#### 4 事業実施者の自己評価等

##### (1)事業実施者の自己評価

##### ア <主たる施策の達成状況> 施策 2 文化芸術活動を体験する機会の提供

施策 2 に対する事業の達成度	達成した
-----------------	------

###### <達成度の理由>

###### ・わかばベアーズ

地域の子どもたちが月 4 回の練習を通じて、舞台芸術に親しむ継続的な機会を得た。ホールでの発表や地域イベント出演により、文化芸術への関心と自己表現の喜びを体感する成果が見られた。

###### ・千葉魂

年齢や背景を超えて市民が協働し、演技・音楽・ダンス等を体験する機会を創出。舞台制作過程に主体的に関わることで、芸術体験の裾野を広げる事業として十分に目的を果たした。

##### イ 施策 3 文化芸術情報の幅広い収集と戦略的な発信

施策 3 に対する事業の達成度	概ね達成した
-----------------	--------

###### <達成度の理由>

###### ・わかばベアーズ

参加者は目標の 30 名には達しなかったものの、SNS や館内掲示、チラシによる情報発信を継続的にを行い、地域内での認知度向上に寄与。今後はより多様な広報媒体の活用を検討する。

###### ・千葉魂

ワークショップの参加者が広い年代にわたり、市民の関心を喚起できた。HP・チラシ・DM 等を通じた発信が功を奏し、参加者募集や市民の文化芸術への関心拡大に繋がった。

###### <達成度の理由の指標、アンケート結果>

###### ・わかばベアーズ

目標の 30 名には達しなかったものの、毎年多少の入れ替わりがありながら、現状の数値をキープし続けて 10 年に至っている。一定数のプロモーション効果はあると認識している。

###### ・千葉魂

当初は定員以上(48 名)の申し込みがあり、オーディションにより稽古参加率やホールの事業方針と、参加者の考えが異なるなどもあり、結果、定員数(40 名)に収まった。定員以上の応募が来たこと、また最終公演ではチケットが完売したことから、十分なプロモーション成果が発揮できたと考える。

##### ウ 施策 5 子どもや若者が継続して文化芸術に親しめる機会の提供

施策 5 に対する事業の達成度	達成した
-----------------	------

###### <達成度の理由>

###### ・わかばベアーズ

未就学児から中学生までが継続的に活動し、仲間とともに年間を通して表現を学ぶ中で、協調性や創造性を育んだ。学校外で文化芸術に親しむ貴重な場として機能している。

・千葉魂

美浜文化ホールでは、今指定期間開始時より「みはま演劇チャレンジ」として、演劇ワークショップを継続的に実施してきた。今回の「千葉魂」にも、同演劇チャレンジ経験者が多数参加し、継続的な事業展開として発展している。

<達成度の理由の指標、アンケート結果>

・わかばベアーズ

若葉文化ホールにおいて、チアサークル立ち上げから継続的に10年実施している。その間、一貫して25名前後の年中～中学生が毎週レッスンに参加しており、継続事業として十分な成果と考える。若葉区民まつりへの参加や、千葉東警察署主催のイベント出演など、地域にも認知されており、当初の目的である「元気ちば応援団」のテーマに即した企画となっている。

・千葉魂

今指定管理期間より、舞台芸術体験事業「みはま演劇チャレンジ」を、小学4年～中2を対象として3年間実施してきた。今回の千葉魂では、参加者の半数が「みはま演劇チャレンジ」に参加しており、複数年にわたる種まきの成果を発揮した事業となった。

## エ 施策7 文化施設の企画力や専門性を活かした取り組みの実施

施策7に対する事業の達成度	達成した
---------------	------

<達成度の理由>

・わかばベアーズ

本来、スポーツ応援として行うチアダンスを、若葉文化ホールや千城台コミュニティセンターの主催事業のオープニングアクトや、区民まつり等へ出演することにより、エンターテインメントへと昇華させ実施することにより、参加者のモチベーションへとつなげることができた。

・千葉魂

総合芸術である演劇公演に臨むという高い目標設定に向けて、芝居、ダンス、歌の専門家を講師、出演者として招聘することにより、共演という強い絆を生むことにより、参加者が常に集中して事業に取り組む環境を提供することができた。

<達成度の理由の指標、アンケート結果>

・わかばベアーズ

若葉文化ホールにおいて、チアサークル立ち上げから継続的に10年実施している。その間、一貫して25名前後の年中～中学生が毎週レッスンに参加しており、継続事業として十分な成果と考える。若葉区民まつりへの参加や、千葉東警察署主催のイベント出演など、地域にも認知されており、当初の目的である「元気ちば応援団」のテーマに即した企画となっている。<施策5再掲>

・千葉魂

今指定管理期間より、舞台芸術体験事業「みはま演劇チャレンジ」を、小学4年～中2を対象として3年間実施してきた。今回の千葉魂では、参加者の半数が「みはま演劇チャレンジ」に参加しており、複数年にわたる種まきの成果を発揮した事業となった。<施策5再掲>

## オ 施策 12 アーティストが集い、活躍の場を広げるための支援

施策 12 に対する事業の達成度	概ね達成した
------------------	--------

### <達成度の理由>

#### ・わかばベアーズ

(講師 1 名のため、対象外)

#### ・千葉魂

千葉市芸術文化新人賞 5 名(日舞、声楽、和太鼓、ウクレレ、SAX)、千葉ゆかりのアーティスト 3 名(日舞、落語、ミュージカル俳優)と、普段共演することのない多ジャンルのアーティストが集い、市民参加者への振付指導、共演、また、新人賞メンバーと千葉ゆかりのアーティストによるコラボレーション共演など、多岐に渡り活躍いただいた。

### <達成度の理由の指標、アンケート結果>

#### ・わかばベアーズ

(講師 1 名のため、対象外)

#### ・千葉魂

千葉市芸術文化新人賞のメンバーのみで作るコラボレーションコーナー「月の砂漠」では、各アーティストが編曲や舞台表現の演出方法まで本人たちで智慧を出し合い作り上げた。参加したメンバーからは「こういうクリエイティブな作り方は刺激的で面白い！」と、リハーサル中から好評いただいた。また、創り上げたコーナーを総合演出や千葉ゆかりのミュージカル俳優によってさらにブラッシュアップすることで、各出演者からとても刺激的な現場(公演)だったとの声もいただいた。

## (2) 千葉市の意見

主たる施策2「文化芸術活動を体験する機会の提供」について、毎月複数回の継続したワークショップを行い公演にいたる文化芸術活動の体験事業を展開し、市民参加を促しており、アンケート結果からも参加者からの満足度の高い意見も多く見受けられる。

一方、参加者が、事業後にも継続して文化芸術活動の参加につながっているか等の調査を工夫していく必要があると考える。

## 5 文化芸術振興会議の評価（案）

### (1) 評価(案)

### (2) 次回に向けた提言(改善案など)